

平和が丘防災タイムズ 第27号

平和が丘学区防災委員会

紫陽花があちこちで鮮やかに咲く季節になりました。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平和が丘防災タイムズ27号では、今年度の活動内容を紹介させていただきます。

○ 平和が丘学区 防災委員会 平成28年度活動計画

今年度の活動計画は以下のとおりです。

住民の皆さまにもご協力いただく内容もありますので、是非積極的にご参加をお願いいたします。

なお、今年度は平和が丘小学校校舎改築に伴いグラウンドが使用できない時期があるため、実施内容が変更または縮小する行事があります。また、参議院選挙実施日によっては、行事予定が大幅に変更となる場合があります。

詳しくは、学区ホームページや事前案内の回覧等でご確認下さい。



【平成28年度防災委員会活動計画】

活動項目・活動内容	実施場所	時期
1 自主防災訓練 ①学区総合防災訓練（縮小実施） ②自主防災会防災訓練 各自治会&コミセンが訓練目標を設定して訓練実施	平小体育館 各避難場所 他	6/19(日) 6月～12月
2 防災研修関連 ①新自主防災会長リーダー研修（消防署主催） ②新班長研修（消火班、救出救護班、避難誘導班） ③避難所運営リーダー研修（避難所の運営・実技指導）	名東消防署 名東消防署 区役所 他	7/3(日)、10月 7/9(土) 12月～2月
3 めいとう見守り支援事業の推進（学区） 自治会・民生・消防・防災委員合同による要支援者の救出訓練 ①要支援者へのPR(民生)、回覧による実施PR(自治会) ②実施の協定締結、要支援者への同意書送付・回収（区役所） ③マップの作成、救出計画の策定（学区） ④救援訓練の実施	コミセンおよび 小学校	11月～7ヶ月 の予定
4 名東区放火防止モデル地区に指定 各自治会と合同で放火防止のPR、空家有无確認、対策の検討、定期巡回を行い放火防止に努める	各自治会	年間

○平成28年度防災委員会のメンバー紹介

防災委員会は、平和が丘学区連絡協議会の委員会として平成15年に発足し、各自治会の自主防災会長や平和が丘消防団、名東区役所、名東消防署等と連絡を密に、防災に関わる行事の企画立案と実施、各種情報提供・啓蒙活動等を行っています。

以下に、今年の防災委員会メンバーを紹介します。

役職	氏名	役割	役職	氏名	役割
委員長	後藤 浩一郎	総括	委員	舟橋 三千秋	東邦高校避難所担当
副委員長	若林 幸男	学区副会長	委員	中川 衛	防災訓練・スポーツフェスタ担当
副委員長	吉田 欣一	学区副会長・防災訓練総括	委員	浅井 重子	家庭防災担当
事務局長	佐藤 弘	窓口・管理運営担当	委員	加藤 実	コミセン避難所担当
会計	森 文男	資産管理・平小避難所担当	委員	山本 篤也	猪子石中学避難所担当
委員	田口 恒	避難所運営管理担当	委員	今井 信彦	防災訓練担当
委員	足立 匡徳	防災訓練担当	委員	児玉 忠信	防災訓練担当
委員	河村 庫夫	避難所運営管理担当	委員	前島 一也	防災タイムズ・ホームページ担当
委員	津田 信行	防災訓練担当	顧問	山田 賢	消防団長

○コミセン運営委員会の役割と活動

平和が丘コミセン(コミュニティセンター)は、平成10年6月、名古屋市が小学校区単位に「まちづくりのコミュニティ拠点」として開設した公共施設です。昼間・夜間、平日・休日に、赤ちゃんを抱っこしたお母さん、子ども達、年輩の方々など年間約2万名の方が気軽に交流の場として幅広く利用され、名古屋市でもトップクラスの盛況です。

コミセンの管理運営は、「平和が丘学区連絡協議会」が名古屋市の指定管理者となっていますが、当学区は、開設と同時に設立された「コミセン運営委員会」がその業務を行っています。運営委員会は8名で構成され、多くの利用者が気持ち良く、公平に利用出来るように各種の利用規定の制定・周知や建物の管理、備品・什器等の保守や補充、日常発生する諸問題の解決等、多岐の課題を毎月開催する委員会で協議しています。

他にコミセン独自の行事として文化祭やコンサートの開催も企画しています。

更に、日常の業務は委員会の下、片腕として16名のボランティアの人たちが「管理スタッフ」としてその任を担っています。

皆さんも是非お気軽にお立ち寄り下さい。

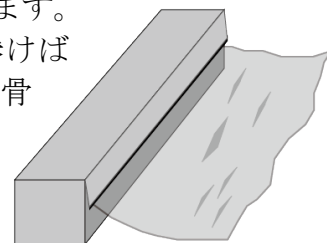


□防災お役立ち情報（食品用ラップフィルム）

皆さん既にご存知とは思いますが、避難生活を送る際に役立つ食品用ラップフィルム（サランラップ、ポリラップなど）の使い方をあらためて紹介します。

食べ物を包んでおく本来の方法だけでなく、食事の際に器に巻けばお皿が汚れず貴重な水が節約できますし、怪我した場所の止血、骨折した際には添え木を包む包帯代わりに、また新聞紙などを体に巻き、その上からラップで包めば防寒着代わりにもなります。

非常持ち出し用品の中に数本入れておくと、いろいろ役立ちますよ。



<編集後記> 今年4月からの熊本・大分で発生した地震で被災された方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。今回の地震では、本震と思われた地震が前震であったり、その後も地震が頻発し被害を増大させたことが大きな特徴です。私たちの住む名古屋市も、いつ大地震が襲ってくるかも知れません。事前に避難所の場所や避難経路を確認しておくことや、定期的な防災訓練への参加、避難用具の確保など、日頃からの備えについてご家族で話し合ってみてください。（編集 前島）



平和が丘だより

検索